

# 10 和牛繁殖基盤の強化をめざして

## ■ 中讃和牛改良組合 ■

( 中讃農業改良普及センター ○川西勲 政木哲哉 )

### ●対象の概要

中讃和牛改良組合は、中讃管内の繁殖雌牛の改良の効率化と繁殖経営の安定化を図るために平成25年9月26日に中讃地域3市2町(丸亀、坂出、善通寺、綾川、まんのう)の繁殖和牛飼育農家19戸で組織化され、全国和牛登録協会の公認和牛改良組合として活動している。

### ●課題を取り上げた理由

最近の飼料価格の高騰により畜産経営をめぐる情勢は、非常に厳しい。そのため、地域内繁殖雌牛のレベルアップと斉一性の向上により経営安定化の必要に迫られた。

また、平成29年に宮城県で開催される全国和牛能力共進会への出品資格を取得するためにも、和牛改良組合の設立が必要であったことから、関係機関及び生産者に組織化に向けた活動支援を行うこととした。

### ●普及活動の経過

#### 1 和牛改良組合設立の経緯

中讃地域では繁殖雌牛は、272頭を25戸で飼養しており、10頭以上飼養している農家は11戸で、1戸あたりの飼養頭数は約11頭である。平成21年度から25年度までに中讃管内に25頭の優良繁殖雌牛が県の事業で導入されている。また、県畜産共進会でも過去7年間で8頭が金賞首席となり、そのうち3頭が農林水産大臣賞を受賞している。しかし、繁殖農家としての組織が無いため、全国和牛能力共進会への出品資格も無い状況であった。

そのような中、「全国和牛能力共進会に出品できるようにするため、中讃地域で和牛改良組合を設立したい」との管内繁殖農家からの要望と中讃地域の繁殖雌牛群のレベルアップのため、平成25年2月に改良組合の設立を検討することとなった。

和牛改良組合の設立を検討するにあたり、管

内の繁殖農家全戸に対して組合設立の意義を説明したところ、19戸(76%)の農家の賛同を得ることができた。

#### 2 事業内容及びサポート体制

事業内容については、改良・増殖の推進として①指定交配や優良受精卵移植、②導入や自家保留による優良繁殖雌牛の増頭、③生産された優良子牛の地域内肥育農家への供給のほか、④知識習得のための研修会を実施することとした。

また、サポート体制として、JAが事務局として会議案内や資料作成等の事務を担当し、県は家畜保健所や普及センターが技術指導等を実施する体制で進めることとなった。



和牛改良組合設立総会

#### 3 関係市町からの支援

管内繁殖牛農家及び肥育農家に対して和牛改良に関する意向調査を行い、その結果(表-1)を踏まえ、5年後の管内和牛改良の展望について市町に説明した結果、各市町から和牛改良組合の活動に対して支援を受けることができた。

表-1 和牛改良に関する意向調査

事業内容	参加戸数	希望頭数				
		H26	H27	H28	H29	H30
指定交配	13	58	63	65	71	72
受精卵移植	4	5	5	5	5	5
自家保留	16	30	32	27	30	29
県外導入	11	15	14	14	14	14

#### 4 具体的事業内容の検討

中讃和牛改良組合を核とした中讃地域における「讃岐牛」の地域一貫生産の推進のために以下の事業を仕組み、組合員に実践するよう周知した。

- ① 改良組合の改良方針に沿った優良種雄牛の指定交配や優良受精卵を移植するための経費の一部を助成する。
- ② 改良組合内で生産された優良雌牛を組合員が自家保留した場合奨励金を交付する。
- ③ 組合員が県外から優良繁殖雌牛を導入した場合、奨励金を交付する。
- ④ 改良組合内で生産された優良肥育素牛を組合員以外の中讃管内肥育農家が公設市場で購入した場合、奨励金を交付する。

#### 3 家畜市場での発育測定

中讃和牛改良組合員が生産した肥育素牛について、家畜市場で体高を測定することにより全国和牛登録協会が定めている標準発育基準と比較を行った。標準より発育が劣っている農家については、関係機関と連携して飼料給与面での改善指導を行った。



家畜市場での体高測定

### ●普及活動の成果

#### 1 和牛改良のための取り組み結果

改良組合の各種事業内容に基づき、組合員が和牛改良に取り組んだ結果、表-2のような結果となった。

表-2 和牛改良のための取り組み結果

事業内容	戸数	頭数
優良種雄牛指定交配	6	17
繁殖雌牛自家保留	4	4
優良繁殖雌牛導入	8	10
肥育素牛購入奨励	8	14

#### 2 基礎雌牛造成のための研修会

繁殖雌牛の基本登録・高等登録の審査方法について全国和牛登録協会の穴田事務局長を迎え、香川県内の和牛改良組合員が合同の研修会を開催した。他の地域の改良組合員が飼養している優良な繁殖雌牛を見ることにより和牛改良に対する意識が向上した。



和牛振興研修会

#### 4 子牛有利販売に向けての取り組み

中讃和牛改良組合員が生産した子牛であることをアピールするために、平成27年6月に開催される香川県家畜市場での和牛子牛市場の上場時から牛の首に「中讃和牛改良組合生産牛」のタスキを付けることとなった。

### ●今後の普及活動の課題

今後、中讃和牛改良組合が核となり、様々な事業を展開していくことで優良な肥育素牛を生産し、その子牛を中讃地域で肥育すれば、「地域で生まれ育った高品質なオリーブ牛」の増頭を実現することができる。

また、平成29年に宮城県で開催される全国和牛能力共進会への出品と上位入賞をめざすことで、中讃地域の全国的な知名度向上と「オリーブ牛」の一層のブランド化が図れるものと考えられ、関係機関と共に組合活動をサポートしていく予定である。